

令和元年度事業報告

令和元年度の家畜衛生状況を振り返ると、一昨年(平成30年9月)に岐阜県で26年ぶりに発生した豚熱の感染地域が拡大し、昨年3月には経口ワクチン散布による野生いのしし対策を、10月には発生地域における予防的ワクチン接種を開始したが、令和2年2月末までに、岐阜県、愛知県、長野県、滋賀県、大阪府、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県(1府9県)での発生が確認されている。また、一昨年8月からの隣国中国への侵入で始まったアジアのアフリカ豚熱は、今や中国全土から、ほぼアジア全域に拡大する勢いで、近隣国としては韓国、フィリピンにまで及んでいる。我が国では、水際検疫の強化に努めているが、動物用医薬品業界としても、継続して関係機関等と連携して家畜防疫体制の強化に協力していかなければならない状況である。

一方、「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン2016-2020」は最終年度になるが、これまで我が国では硫酸コリスチンを始めとする抗菌性物質系飼料添加物の指定取り消し等の対策を進行中であるが、One Health の考え方を踏まえた動物用抗菌性物質(動物用医薬品及び飼料添加物)の適正使用及び慎重使用を推進するには課題が多く残されており、今後も継続した取り組みが必要となっている。

また、令和元年12月には、先駆け審査指定制度の法制化や製造・流通・販売に関わる者のガバナンスの強化等を軸とした薬機法改正が行われ、今後、動物用医薬品に関しても具体的な運用が検討・実施されることとなる。

このように動物用医薬品業界を取巻く環境が大きく変化する中、本協会は動物用医薬品等の製造販売業者等を会員とする公益法人として、各種公益事業及び業界関係者相互協力事業等に必要な活動に取り組んだ。

公益目的事業としては、農林水産省の補助事業(2件)及び(独)農畜産業振興機構の補助事業(1件)を実施した。これらの事業において、緊急時に備えた動物用ワクチン供給体制の維持、動物用医薬品の原薬・原材料の供給国として可能性のあるインド等の現地調査に取り組んだ。また、動物用医薬品の承認申請資料に関する国際基準作成推進事業(農林水産省補助事業)においては、第38回 VICH 運営委員会及び第12回 VICH アウトリーチフォーラムを、東京都昭島市において開催・参加するとともに、VICH 活動で策定されたガイドラインを東南アジア等非 VICH 国・地域機関に普及啓発することを目的として、教育用ビデオを作成した。

さらに、自主事業として毎年開催している第51回学術講習会では、抗体医薬品など次世代の動物用医薬品の開発状況についての講演をいただき、第40回目となった動物用医薬品等製造販売管理者講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、東京・大阪で開催することができたが、2月後半からは予定していた種々

の会議等を延期・中止せざるを得なかった。

次に、業界関係者相互協力事業の一環として医薬品医療機器等法違反の再発防止のためにコンプライアンス遵守活動に取り組んでおり、令和元年度もコンプライアンス推進委員会を中心に企画した法令遵守体制の自己点検などを行った。なお、平成30年度以降は会員の動物薬事に関する法令違反は認められず、着実に業界の法令遵守意識は高まっている。

1 会員の異動

1 正会員

平成30年度末の正会員数は、63所社であった。

令和元年度に以下のような種別変更、退会及び承継があった。

(1) 平成31年4月1日に、(株)シードが賛助会員から正会員に種別変更。

(2) 平成31年4月1日に、日ハム(株)が入会。

(3) 平成31年4月1日に、(株)インターベツトが、MSD アニマルヘルス(株)に社名変更。

(4) 令和元年8月31日に、(一財)阪大微生物病研究会が退会。

(5) 令和元年10月2日に、住友商事株式会社が入会。

その結果、令和元年度末の正会員数は、65所社となっている。

2 特別会員

平成30年度末の特別会員数は、8所社であった。

令和元年度に以下のような入会があった。

(1) 令和元年5月9日に、Huvepharma Japan(株)が入会。

その結果、令和元年度末の特別会員数は、9所社となっている。

3 賛助会員

平成30年度末の賛助会員数は、14(所社・人)であった。

令和元年度に以下のような種別変更及び退会があった。

(1) 平成31年4月1日に、(株)シードが正会員に種別変更。

(2) 令和2年3月31日に、ライオン商事(株)が退会。

(3) 令和2年3月31日に、日清ペットフード(株)が退会。

その結果、令和元年度末の賛助会員数は、11(所社・人)となっている。

2 総会及び理事会

令和元年度において、通常総会、3回の通常理事会を開催した。また、電子手続きにより1回の理事会採決を行った。これらの会議開催日・期間、場所及び議題は、次のとおりである。

1) 第52回通常総会

開催日:令和元年6月7日(金)

場所:KKR ホテル東京(白鳥の間)

議題:

【議決事項】

第1号議案 平成30年度計算関係書類に関する件

第2号議案 令和元年度会費等の額及び納入方法に関する件

第3号議案 役員の補欠選任に関する件

【報告事項】

(1) 平成30年度事業報告及び附属明細表について

(2) 令和元年度事業計画書及び収支予算書について

2) 第1回通常理事会

開催日:令和元年5月14日(火)

場所:馬事畜産会館 第2会議室

議題:

【採決事項】

第1号議案 平成30年度事業報告及び計算関係書類の承認に関する件

第2号議案 第52回通常総会の日時、場所、目的事項に関する件

第3号議案 理事会推薦役員の補欠選任に関する件

第4号議案 常務理事の選定に関する件

第5号議案 常設委員会担当理事の変更に関する件

第6号議案 協会の各種規程類の一部改正に関する件

第7号議案 入会申し込みに関する件

【報告事項】

(1) 2019(令和元)年度の事務局体制について

(2) 第29回 HealthforAnimals 総会及び関連会議の報告について

(3) 座談会開催報告について

(4) 2019(令和元)年度における主な行事予定について

(5) その他

2) 第2回通常理事会

開催日:令和元年10月2日(火)

場所:薬業健保会館 中会議室

議題:

【承認事項】

第1号議案 入会申し込みに関する件

第2号議案 コンプライアンスの推進に関する件

(令和元年度法令遵守体制の自己点検チェックリストの承認)

【報告事項】

(1) 令和元年度上期の事業実施状況について

(2) 業務執行理事の職務報告について

(3) 令和元年度下期の行事予定について

(4) 公益社団法人日本動物用医薬品協会の会員の状況について

(5) 会員の退会について

(6) 他団体の行事に対する協賛について

(7) HealthforAnimals が実施する GBS2020への協力について

3) 第3回通常理事会

日時:令和2年3月10日(火)

場所:馬事畜産会館 第2、3会議室

議題:

【承認事項】

第1号議案 令和2年度事業計画に関する件

第2号議案 令和2年度予算に関する件

第3号議案 令和2年度会費賦課方針に関する件

第4号議案 会員役員の選任に関する役員候補所社の選考に関する件

第5号議案 会員外役員の公募に関する件

第6号議案 諸規程の一部改正等に関する件

第7号議案 入会申し込みに関する件

【報告事項】

(1) 令和元年度下半期の事業活動報告について

(2) 業務執行理事の職務報告について

(3) 令和元年度法令遵守体制の自己点検の集計結果について

(4) 会員の退会について

(5) 令和2年度における主な行事予定について

6) 電子メールによる理事会議決

ア 第1回電子メール稟議

期間:令和2年3月27日(金)～3月30日(月)

【承認事項】

新型コロナウイルスに関する要望書について

3 総務委員会

令和元年度において、次のとおり、1回の総務委員会を開催した。

(1) 令和元年度第1回総務委員会

開催日:令和2年3月4日(水)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため対面会議を開催せずに電子メールによる協議とした。

【議 題】

1. 令和2年度事業計画に関する件
2. 令和2年度予算に関する件
3. 令和2年度会費賦課方針に関する件
4. 会員役員の選任に関する役員候補所社の選考に関する件
5. 会員外役員の公募に関する件
6. 諸規程の一部改正等に関する件

4 動物用医薬品等の学術の振興及び普及に関する事業(公益1)

動物に使用する医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品(以下「動物用医薬品等」という。)に関する最新の学術情報、許可・承認情報並びに関連情報を、講習会の開催、書籍・情報誌の刊行、ホームページにより提供し、動物用医薬品等に対する一般社会の理解の醸成と動物用医薬品関連業務に関与する者の資質の向上を図り、動物用医薬品等の開発促進と安定供給に資することを目的とする事業である。

1) 講習会等の開催

ア 第51回学術講習会

開催日:令和元年10月16日(水)

場 所:中央大学駿河台記念館 370 号室

参加者:総計202名 (会員:180名、一般他:22名)

講演内容:

1. 薬機法の改正について

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課

課長補佐 関口 秀人

2. 動物用抗体医薬品の開発および臨床研究

北海道大学大学院獣医学研究院 病原制御学分野

准教授 今内 覚

3. 原虫の感染・増殖メカニズムと抗原虫薬の開発について

東北大学大学院農学研究科 動物環境システム学分野

教授 加藤 健太郎

イ 第40回動物用医薬品等製造販売管理者講習会の開催

開催地:東京及び大阪

開催日:令和2年2月18日(火)、25日(火)

場 所:東京 日本教育会館ホール

大阪 大阪府立国際会議場会議室

受講者:総計418名 (会員:322名 一般:85名 県11名)

東京:308名 (会員:247名 一般:56名 県5名)

大阪:110名 (会員:75名 一般:29名 県6名)

講演内容:

1. 動物薬事制度について
2. 動物用医薬品等の製造管理及び品質管理(GMP)について
3. 動物用医薬品等の製造販売承認申請の手続について
4. 動物用医薬品等の製造販売業の許可申請等の手続きについて

2) 広報活動事業

公益事業活動の一層の推進を図るため、ホームページ収載事項を更新し、動物用医薬品等に関する普及並びに適正使用の推進のための広報活動を展開する。

ア 動物用医薬品等関係通知等を常に掲載

会員等への広報活動を実施した。令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)は、合計70件の通知等情報を掲載。

イ 動物用医薬品の承認申請資料に関する国際基準作成促進事業(国庫補助事業)

他国・地域機関への国際基準情報の提供(国際基準の普及啓発資料の作成)

①VICH-GL57(水産薬薬物代謝残留)教育訓練用DVD(修正版)

ウ 協会HPに薬剤耐性(AMR)対策関連のバナーを新設(令和元年11月)

3) 会議の開催

令和元年度において、次のとおり、3回の会議を開催した。

ア 第1回広報・教育委員会

開催日:令和元年5月31日(金)

場所:会議スペース「ソレイユ」

議題:1. JVPA DIGEST第65号の編集について

2. JVPA DIGEST第66号の企画について

3. 国際情報129号の編集について

4. 国際情報130号の企画について

5. 第51回学術講習会の開催について

イ 第2回広報・教育委員会

開催日:令和元年9月19日(木)

場所:馬事畜産会館 第4会議室

議題:1. JVPA DIGEST第66号の編集について

2. JVPA DIGEST第67号の企画について

3. 国際情報第130号の編集について

4. 国際情報第131号の企画について

5. 第51回学術講習会の開催について

ウ 第3回広報・教育委員会

開催日:令和2年1月21日(火)

場所:薬業年金会館 会議室

議題:1. JVPA DIGEST第67号の編集について

2. JVPA DIGEST第68号の企画について

3. 国際情報131号の編集について

4. 国際情報132号の企画について

5. 第40回動物用医薬品等製造販売管理者講習会の開催について

6. 第52回学術講習会のテーマと講師の選定について

4) 会報等配布事業

ア 動物薬事

第57巻第4号(No.679)～第58巻第3号(No.690)

毎月25日に発行

イ JVPA DIGEST

第65号 令和元年6月に発行

第66号 令和元年10月に発行

第67号 令和2年2月に発行

ウ 国際情報

第129号 令和元年6月に発行

第130号 令和元年10月に発行

第131号 令和2年2月に発行

5) 関係図書発行

ア 動物用医薬品等製造販売指針 2020年版 の発行

発行時期: 令和2年2月12日

発行部数: 400部

5 動物用医薬品等の関係法令等の調査及び研究に関する事業(公益2)

動物用医薬品等に関する内外の法制度、許可・承認ガイドライン、並びに開発・改良や製造技術の向上に資する調査研究を行い、製造販売業等の許可や製造販売承認の迅速化及び円滑化への提言活動等により、開発促進と安定供給に資する事業である。

1) 補助・助成事業

動物用医薬品の承認申請資料に関する国際基準作成推進事業

(国庫補助事業)

動物用医薬品の承認審査資料に関する日、米、欧の3極による国際基準作成のための情報収集・分析及び調査と国際会議の開催を行い、適正な審査資料の作成及び迅速な承認審査の促進に資することを目的とする事業である。

令和元年度において、開催・出席した会議は、次のとおりである。

ア 国際会議の開催・参加

第38回 VICH 運営委員会・第12回アウトリーチ・フォーラム会合

開催日: 令和元年11月18日(月)～21日(木)

場所: 東京都、昭島市、フォレスト・イン昭和館

イ 国内対応会議の開催

ア) 第1回 VICH 企画調整委員会

開催日: 令和元年8月2日(金)

場所: 農林水産省消費・安全局第6会議室

議題:

1. 令和元年度の VICH ガイドライン普及啓発資料の作成課題について

① VICH ガイドライン(GL)普及啓発資料の作成状況について(第37回運営委員会議事の確認)

② VICH GL57(水産薬の代謝残留試験法)の普及啓発資料(暫定版)の修正について(修正意見提出状況)

③ その他の VICH GL 普及啓発資料の作成課題について

2. 第38回運営委員会及び第12回アウトリーチ・フォーラムの開催に向けた準備について

① 開催日程(予定)について

② VICH 安全性専門作業部会会合の開催の可否について

イ) 第2回企画調整委員会

開催日:令和元年11月12日(火)

場所:農林水産省消費・安全局 第9会議室

議題:1. 第38回VICH運営委員会・第12回アウトリーチ・フォーラム会合の
予定議題に関する検討について

ウ) VICH 第1回生物学的製剤検査法専門委員会

開催日:令和2年1月9日(木)

場所:馬事畜産会館 第4会議室

議題:

1. 迷入微生物検査法ガイドライン作成にとりかかる対象動物について
2. バイオテクノロジー由来/生物学的製剤の安全性評価ガイドライン(仮称)作成作業への対応について
3. 生物学的製剤検査法専門委員会委員の変更について

2) 常設委員会の開催等(自主事業)

ア 国際対応委員会

ア) 第1回国際対応委員会(拡大委員会)

開催日:令和元年6月11日(火)

場所:会議スペース「ソレイユ」

議題:1. 令和元年度国産畜産物安心確保等支援事業(海外流行性疾病侵入時対応強化事業)の実施計画について(協議事項)
2. 今後の VICH 活動に関する承認・協議事項について
ア 国内専門委員会委員の交代について(承認事項)
イ HealthforAnimals からの問合せへの対応について(協議事項)

イ) 第2回国際対応委員会

開催日:令和元年11月12日(火)

場所:馬事畜産会館 第1会議室

議題:1. 第38回 VICH 運営委員会及び第12回アウトリーチ・フォーラム会合の予定議題に関する検討について

イ 薬事委員会

ア) 令和元年度第1回薬事委員会

開催日:令和2年2月5日(木)

場所:馬事畜産会館 第4会議室

議題:1. 動物薬事問題定例協議会のあり方(議事運営)について
2. 第28回動物薬事問題定例協議会に向けた準備について

ウ 動物薬事問題定例協議会の開催

令和2年3月24日(火)に馬事畜産会館第2、3会議室で開催を予定していた第27回動物薬事問題定例協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため延期した。

エ HealthforAnimals 第30回通常総会、第80回理事会等への参加

開催日:令和2年2月26日(火)～28日(木)

場所:英国、ロンドン市内会議室

※新型コロナウイルス感染症対応のため参加取りやめ。

オ その他

ア) ゲノム編集技術を利用して得られた食品等に関する意見交換会

開催日:令和元年7月22日(月)

場所:薬業健保会館 大会議室A

議題:1. ゲノム編集技術を利用して得られた生物に係る取扱い方針(環境省公表)を受けた農林水産省の対応について(農林水産省説明)

2. 質疑・意見交換

イ) 2019年度第1回薬剤感受性ディスク普及に関する検討会

開催日:令和元年8月30日(金)

場所:農林水産省 第4・5会議室

参加所社:11所社

議題:(1)薬剤感受性ディスクの開発普及状況について

(2)動物用の薬剤感受性ディスクに関するアンケート及び海外における感受性ディスクの販売状況について

(3)今後開発が期待される薬剤感受性ディスクについて

(4)薬剤感受性ディスクの普及の在り方について

ウ) 第2回薬剤感受性ディスクの普及に関する検討会への参加

開催日:令和2年1月17日(金)

場所:農林水産省消費・安全局第2・3会議室

参加所社:11所社

議題:(1)薬剤感受性ディスクの開発普及状況について

(2)動物用の薬剤感受性ディスクに関するアンケート及び海外における感受性ディスクの販売状況について

(3)今後開発が期待される薬剤感受性ディスクについて

(4)薬剤感受性ディスクの普及の在り方について

6 動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上に関する事業(公益3)

動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上は、公衆衛生、動物の育成あるいは動物由来のタンパクの安全性を確保するため、安定的な生産の助長を図るため等に不可欠である。

一方、近年、口蹄疫、鳥インフルエンザ及び豚流行性下痢のように野外発生により畜産農家や地域経済に甚大なる被害をもたらす疾病が発生している。また、社会の発展に伴い、新しいウイルスや細菌などの病原体も出現しており、動物用医薬品等の開発・改良の重要性は年々増している。

そのため、当協会は、広く国内の畜産現場における諸問題や国際的な疾病流行やその動向等を調査収集し、伴侶動物をはじめとする各種動物の健全な育成や福祉を助長するため、より安全で有効な動物用医薬品等を開発・改良することを目指している。

さらに、動物用医薬品の供給者を会員に有する団体として、その専門性・知見等から政府や畜産関連団体が国民のために行う各種施策や要請の受け皿団体とし、国等と連携し、本事業を推進した。

1) 海外流行疾病侵入時対応強化事業

アジア地域における流行性疾病に対する我が国の動物用医薬品の有効性等に関する情報の収集及び提供を行う事業である。

令和元年度において、次のような会議を開催し、事業を推進した。

ア 第1回海外流行疾病侵入時対応強化事業推進委員会

開催日:令和元年7月30日(火)

場所:NATULUCK 神田駅東口大会議室

- 議題: 1. 令和元年度海外流行疾病侵入時対応強化事業計画について
2. 原薬・原材料の海外(国外)からの調達状況の調査結果について
3. 海外調査対象国の選定について
4. 海外調査の準備について

イ 第1回原薬検討専門委員会

開催日:令和元年9月2日(月)

場所:馬事畜産会館 第4会議室

- 議題: 1. 調査対象国向け資料(日本の状況説明資料)の内容について
2. 調査対象国における調査事項について
3. 調査団の団員構成について

ウ 第2回海外流行疾病侵入時対応強化事業推進委員会

開催日:令和元年12月25日(火)

場所:馬事畜産会館 第1会議室

議題:

1. 令和元年度海外流行疾病侵入時対応強化事業の進捗状況について
2. 今後の作業について

エ 海外現地調査

1) インドネシア共和国

調査日程:令和元年11月12日～15日

調査団員:大石、清水、山下

訪問先:Indonesia Animal Health Product Association (ASOHI)

2) インド共和国

調査日程:令和2年2月9日～14日

調査団員:大石、清水、佐々木、守山

訪問先:Indian Federation of Animal Health (INFAH)他現地企業5社

3) イタリア

※現地調査できず、Web情報の収集を行った。

オ 第2回原薬検討専門委員会

開催日:令和2年2月21日(金)

場所:秋葉原中央改札口会議室

議題:

1. 調査対象国における調査結果の報告
2. 調査結果のとりまとめ方(事業における普及啓発資料の編集方針)について

カ 第3回海外流行疾病侵入時対応強化事業検討委員会

開催日:令和2年3月2日(月)

場所:馬事畜産会館 第1会議室

議題:

1. 令和元年度海外流行疾病侵入時対応強化事業のとりまとめについて
2. 令和2年度畜産振興事業への応募について

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため対面会議を開催せず電子的手段による協議に変更。)

2) 座談会

開催日:平成31年4月2日(火)

場所:馬事畜産会館 第4会議室

話題:感染症対策の観点から薬剤耐性(AMR)に関する動物薬業界の貢献

(記録は、「日本の動物用医薬品業界の将来を語る(座談会)」としての標題で、JVPA DIGEST No.65に掲載。)

7 動物衛生向上対策に関する事業(公益4)

近年、家禽類を中心に感染・発症が認められてきた高病原性鳥インフルエンザ(H5N1亜型株)ウイルスのヒト等への感染例が報告されるようになった。また、動物の感染症が食の安全や地域経済に大きな影響を及ぼす事例が報告されている。

本事業では、家畜等及び使用者に対して甚大で致命的な被害を及ぼす人獣共通感染症等の的確な防除に不可欠な防疫資材の緊急供給を実施し、家畜等の衛生管理の向上に貢献することにより、公衆衛生の向上並びに動物タンパク資源の確保を図ることを目的とする事業である。

1) 動物用ワクチン等保管事業(令和元年度国庫補助事業)

一般社団法人全国動物薬品器材協会、動物用医薬品製造販売4社、農研機構動物衛生研究部門、大学、臨床獣医師(民間診療所、家畜共催等)、都道府県、農林水産省動物医薬品検査所、農林水産省動物衛生課等で構成される「動物用ワクチン等の安定供給委員会」を組織し、ワクチン等の流通調査・分析、保管ワクチン等の選定・保管数量案の作成、緊急時ワクチン等流通等データベースの維持・更新、緊急時ワクチン等流通マニュアルの更新・普及及び効果的かつ効率的なワクチン利用のための情報の周知とともに農林水産省消費・安全局動物衛生課長が指定したワクチン等について保管を行う事業である。

令和元年度下期において、次のような会議を開催したほか、ワクチン保管の状況の現地確認も行い、事業を推進した。

ア 第1回動物用ワクチン等保管協議会幹事会

開催日:令和元年7月4日(木)

場所:馬事畜産会館 第4会議室

議題:1. 平成30年度動物用ワクチン等保管事業の報告について
2. 2019年度動物用ワクチン等保管事業の推進について

イ 第1回動物用ワクチン等の安定供給委員会

開催日:令和元年8月1日(木)

場所:馬事畜産会館 第1会議室

議題:1. 平成30年度事業報告について
2. 令和元年度事業について
3. 令和元年度事業計画について

ウ 第1回豚用細菌ワクチンプログラム作成検討調査会

開催日:令和元年9月24日(火)

場所:馬事畜産会館 第4会議室

議題:1. 豚用細菌等ワクチンの接種プログラムの作成について
2. 動物用ワクチン利用の手引き(豚用ワクチン編)の検討について

エ 第2回豚用細菌ワクチンプログラム作成検討調査会

開催日:令和元年11月29日(金)

場所:馬事畜産会館 第1会議室

議題:1. 豚用細菌等ワクチンの接種プログラムの作成について

オ 第2回動物用ワクチン等保管協議会幹事会

開催日:令和元年12月4日(水)

場所:馬事畜産会館 第4会議室

議題:1. 令和元年度動物用ワクチン等保管事業の予算執行状況について

2. 令和元年度動物用ワクチン等保管事業のスケジュールについて

3. 令和2年度動物用ワクチン等保管事業について

カ 第2回動物用ワクチン等の安定供給委員会

開催日:令和2年1月28日(火)

場所:馬事畜産会館 第1会議室

議題:1. 次年度保管ワクチン等の種類、保管数量等の検討について

2. 動物用ワクチン利用の手引き(豚用ワクチン編)の作成について

3. 緊急時連携体制整備状況調査結果について

8 収益事業等

動物用医薬品等に対する理解の醸成と知識の啓発・普及に貢献するために書籍を出版する事業である。

(1) 出版事業

ア 家畜共済薬効別薬価基準表(令和元年度版)の発刊

発行日:令和元年4月19日

発行部数:1, 330部

イ 家畜共済薬効別薬価基準表(令和2年版)の発刊

発行時期:令和2年2月14日

発行部数:1, 300部

9 その他協会の目的を達成するために必要な事業(相互扶助等事業)

相互扶助等事業として以下のとおり意見交換会の開催等を実施した。

1) 意見交換会

ア 会員、関係団体、農林水産省関係者等との意見交換会

開催日:令和元年6月7日(金)

場所:KKR ホテル東京

参加者:84名

イ 賀詞交歓会の開催

開催日:令和2年1月9日(木)

場所:KKR ホテル東京

参加者:196名

ウ 事業担当小委員会委員との意見交換会

開催日:令和元年9月19日(木)

参加者:国際情報小委員会委員

エ 動物薬全国二団体の意見交換会の開催

令和2年3月17日に馬事畜産会館第4会議室で開催を予定していた(一社)全国動物薬品器材協会との意見交換は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため延期した。

2) コンプライアンス活動の推進

ア コンプライアンス推進委員会委員への電子的稟議

期間:令和元年9月10日(火)～24日(火)

件名:令和元年度法令遵守体制の自己点検チェックリストの内容確認について

イ 第1回コンプライアンス推進委員会の開催

開催日:令和2年2月14日(金)

場所:馬事畜産会館 第4会議室

議題:1. 令和元年度法令等遵守体制のチェックリストの集計結果について
2. 令和元年度薬事担当責任者会議の開催について

ウ 令和元年度薬事責任担当者会議の開催

開催日:令和2年3月26日(木)

場所:馬事畜産会館 第1～3会議室

議題: 1. 薬機法違反の再発防止及び薬機法改正について
2. 会員からの報告(株式会社微生物化学研究所)
3. 令和元年度法令遵守体制の自己点検の集計結果について

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。)

3) 動物薬事関係情報の収集・会員への提供

ア 国の意見募集手続き(パブリックコメント等)への対応

次の事項に関して関係会員への情報提供を行った。

①動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令案についての意見・情報の募集について(チモールを主成分とする蒸散剤に関する使用規制の制定)

(意見等の募集期間:令和元年6月19日～7月18日)

②動物用生物学的製剤基準の一部改正案についての意見・情報の募集について(新たなシードロット製剤の基準制定や、各条の一部改正。)

(意見等の募集期間:令和元年6月24日～7月23日)

- ③「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件(案)」(食品中の農薬等(アモキシシリン等6品目)の残留基準設定)に係る意見の募集について
(意見等の募集期間:令和元年7月1日～7月30日)
 - ④外国の施設で実施された臨床試験成績の受け入れについて
(意見等の募集期間:令和元年8月2日～8日)
 - ⑤「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件(案)」(食品中の農薬等(アミスルブロム等6品目)の残留基準設定)に係る意見の募集について(ゲンタマイシンの残留基準値改正案)
(意見等の募集期間:令和元年8月26日～9月24日)
 - ⑥「豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針の一部変更案等についての意見・情報の募集について」
(意見募集期間:令和元年9月27日～10月7日)
 - ⑦「食品衛生法施行規則の一部を改正する省令(案)」(プシコースエピメラゼの添加物への指定)及び「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件(案)」(意見募集期間:令和元年10月7日～11月5日)
 - ⑧ 動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令案についての意見・情報の募集について
(意見募集期間:令和元年10月9日～11月7日)
 - ⑨豚コレラマーカーククチンを接種した豚に由来する食品の安全性に関する食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集について(意見募集期間:令和元年10月16日～11月14日)
 - ⑩動物用生ワクチンの実験動物バッチ安全試験省略要件に関するガイドライン案についての意見・情報の募集について(意見募集期間:令和2年3月10日～4月6日)
- イ 第31回 OIE アジア・極東・太平洋地域総会における展示について
開催日:令和元年9月3日～4日
場所:仙台国際会議センター、協会の展示ブースにおいて4会員が出展
- ウ 令和元年度第1回魚病対策促進協議会
開催日:令和元年9月17日(火)14:00～16:00
場所:農林水産省 消費・安全局第2会議室及び第3会議室
本協会から2名が委員として参加
- エ 動物用医療機器のクラスダウンに関する説明会
開催日:令和元年9月20日(金)
場所:(一社)日本臨床検査薬協会会議室、4会員参加
- オ 動物医薬品に関連する会議の開催情報の提供

- ①JICA 食と農の協働プラットフォーム(JiPFA) 畜産／家畜衛生分科会(7月30日開催)
- ②「Animal Health Innovation Asia 2019」の東京開催について(11月6日～7日開催)

以上

附属明細表

事業報告に明細を併せて記述したことから、附属明細表は作成していない。